

平成23年度卒業生よりメッセージ①

私は小学6年生の夏にメル校にきて、この学校で約4年間を過ごしました。初めての転校、そして初めての海外でとまどっていた私に、現地校に行くという選択肢はなく、すぐにメルボルン日本人学校に行くことを決めました。また、当時は英語など全く話せず、アルファベットもまともに書けないほどだったので、両親も現地校に行かせたいという気持ちは特にありませんでした。しかし、そんな私が今、英検2級に合格し、英語の文章を書いたり、会話したりできるほどにまでなりました。それは全てこのメル校で英語の楽しさを教えてくれた先生方のおかげです。

私がG6に入った時、同じG6の仲間はみんな海外生活が長く、私とは英語の実力が格段に違いました。当然私は、英語の授業に全くついていけず、内容もほとんど理解できませんでした。宿題を出されても、自分1人で出来るわけがなく、いつも父に手伝ってもらっていました。みんななら30分ほどで終わる宿題も、私の場合1時間も、2時間もかかったりしていました。そうなってしまうのは、しょうがないことだと自分でも分かっていたのですが、自分だけ出来ないのが悔しくて涙を流してしまったことも何度もありました。どんなに悔しいと思っても、自分もみんなと同じくらいできるようになりたいと願っても、結局出来ない自分がもどかしく、腹がたってしまった時もありました。G6の時は、本当に英語が嫌いで、英語の授業がある日ほど嫌な日はありませんでした。

そんな私も中学生になり、英語の授業の回数も週2から週4~5へと増えました。もちろん私がショックを受けたのは、言うまでもありません。教科書を使っての授業の時は初心者对我来说は良かったのですが、教科書とは別に配られたReadingのプリントをやる授業は本当に大変でした。しかし、理解できなかった私に、先生は理解できるまで根気よく教えて下さいました。何度も、何度も、私の間違いを指摘して下さいました。私1人の為だけに、プリントを作って教えてくださった時もありました。きっと、こんなに生徒のために一生懸命になってくれる先生はいません。

「日本人学校でも英語って伸びるの?」と聞かれたことがあります。そう聞かれた時私は、自信を持って「はい!」と答えたいです。そして、英語の楽しさを教えてくれるたくさんの先生方がいるということも伝えたいです。